



**この12年間で施策11項目中
6項目で13%以上**

市民満足度が上昇しました

私は平成20年4月29日から市長を務めています。この間、職員に対して、市民満足度と費用対効果の最大化を要求し続けてきました。その効果は確実に出ています。市民満足度の変化を捉える指標として、毎年実施の市政アンケートがあります。

各施策の満足度は、「満足」「ほぼ満足」「普通」「やや不満」「不満」の5段階で評価いただいております。総合計画の目標値として「満足」「ほぼ満足」「普通」と回答された市民の合計割合を基準としているので、その数値によって満足度が大幅に上昇していることがわかります。

平成20年度と令和元年度の比較で、質問項目も変わっているのですが、比較可能な11項目のうち、9項目で満足度が向上しています。残念ながら、2項目、「道路」で0.5%減、「情報提供」で4.5%減となっていますが、「義務教

育」で15.7%増、「福祉」で15.0%増、「幼稚園・保育園」で14.6%増、「芸術・文化」で14.4%増、「スポーツ」で13.7%増、「保健・医療」で13.3%増ということ、6項目については13%以上上昇しています。また、残りの項目、「防災対策」で9.2%増、「公園」で4.2%増、「緑化」で2.2%増となりました。

また、市政アンケートに「住みごち」という項目があります。そのなかで「住みやすい」「どちらかといえば住みやすい」と回答された市民の合計割合は表のとおりで、令和元年は過去最高を更新しています。

| | (%) |
|-------|------|
| 平成20年 | 81.2 |
| 21年 | 81.7 |
| 22年 | 79.1 |
| 23年 | 82.1 |
| 24年 | 80.5 |
| 25年 | 77.5 |
| 26年 | 83.0 |
| 27年 | 82.2 |
| 28年 | 84.7 |
| 29年 | 82.9 |
| 30年 | 84.9 |
| 令和元年 | 85.9 |

さらに、市窓口の満足度でもある「市職員の対応」という項目について、「満足」「ほぼ満足」「普通」と回答された市民の合計割合は、表のとおりで、この項目も上昇傾向です。

| | (%) |
|-------|------|
| 平成21年 | 79.3 |
| 22年 | 73.0 |
| 23年 | 74.1 |
| 24年 | 74.3 |
| 25年 | 77.0 |
| 26年 | 74.5 |
| 27年 | 76.2 |
| 28年 | 78.2 |
| 29年 | 79.0 |
| 30年 | 74.7 |
| 令和元年 | 80.6 |

以上、全体としては、この10年間で市民満足度は大きく向上したといえます。

今後とも、職員一同、市民満足度と費用対効果の最大化を目指して、頑張ります。

災害！そのときどうなるの??

問 防災課防災計画係
☎(95)9874

今回のテーマ 災害時の安否確認②

こんにちは。その後、家族と災害時の安否確認について話をしてみました。



それは良かったです。1つ災害への備えができましたね。災害を完全に防ぐことは困難ですが、事前に1つでも2つでも備えることで、災害時の被害や不安を軽減することはできます。



他にも災害時の安否確認の方法として、「大丈夫ですタオル」というものがあるのでご紹介します。

大丈夫ですタオル?



これは、そのお家の人が無事で助けがいない場合に、タオルを玄関に巻き付けておき、周囲に知らせるというものです。タオルの代わりにメッセージを書いた紙を貼っておいてもいいと思います。

えっ。そんなことをする必要はないと思うのですが…



救助隊や自主防災会の人などが救助を必要とする人を探す際に、一目で助けがいないと判断できます。安否確認にかける時間を短縮することができる分、災害時の一刻を争う貴重な時間をほかの人を助けるために使うことができます。これも共助の1つの形ということができます。

そういう安否確認もあるんですね。



ここがポイント

- ・「大丈夫ですタオル」と同様の安否確認の方法は様々な自治体で実施されています。
- ・各家庭で取り組んだとしても、周囲がそれを理解していなければ効果は半減してしまいます。ご近所同士や町内会、自主防災会などで事前に話し合いをして、ルールを決めておくとう�효的です。